

■視聴希望プログラムに○を入れてください

交流会 3、プレコンgress 3,4 は個別の視聴はできません。すべて視聴をお願いします。

視聴希望	視聴予定日	講義科目	受講学生人数	講演者	タイトル	時間
	/			有森 直子 (新潟大学医学部保健学科/大学院保健学研究科 助産学/母性看護学教授)	会長講演 「人生100年時代におけるゲノム医療と意思決定支援」	36分
	/			宮坂 道夫 (新潟大学医学部保健学科/大学院保健学研究科 教授)	教育講演1 「周産期と倫理」	80分
	/			渡邊 典子 (新潟青陵大学看護学部 看護学科 教授)	教育講演2 「新潟県のリプロダクティブ・ヘルスの黎明期を支えた人たち —新潟県助産師教育の黎明と世界が認めた産婦人科医 荻野久作」	33分
	/			日高 庸晴 (宝塚大学 看護学部 教授)	教育講演4 「学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち」	67分
	/			山内 英子 (聖路加国際病院プレストセンター乳腺外科 副院長, センター長, 部長)	シンポジウム1「乳がんと助産ケア」 妊娠期乳がん—ふたつの命を守るために—	20分
	/			大川 恵 (聖路加国際病院 遺伝看護専門看護師)	シンポジウム1「乳がんと助産ケア」 乳癌ハイリスク女性の乳房の医学的管理の選択を支える—リスク低減乳房切除術の選択とその後の暮らしを支える看護—	19分
	/			森 明子 (聖路加国際大学 ウイメンズヘルス・助産学 教授)	シンポジウム1「乳がんと助産ケア」 乳がんと妊孕性	22分
	/			若槻 明彦 (愛知医科大学 産婦人科学教室 教授)	シンポジウム 2「ときめき女性医学 — 助産学と女性医学の連携を探る —」 女性医学とは? (スライドに音声はありません)	13分
	/			安井 敏之 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 生殖・更年期医療学分野 教授)	シンポジウム 2「ときめき女性医学 — 助産学と女性医学の連携を探る —」 女性医学からみた女性ホルモン(スライドに音声はありません)	14分
	/			倉林 工 (新潟市民病院 産科部長・患者総合支援センター(スワンプラザ)長)	シンポジウム 2「ときめき女性医学 — 助産学と女性医学の連携を探る —」 女性医学からみた骨粗鬆症	20分
	/			樋口 毅 (弘前大学大学院保健学研究科 看護学領域 教授)	シンポジウム 2「ときめき女性医学 — 助産学と女性医学の連携を探る —」 助産師教育の中の女性医学	17分

視聴希望	視聴予定日	講義科目	受講学生人数	講演者	タイトル	時間
	/			成田 伸 (自治医科大学 看護学部 教授)	シンポジウム 3「大規模コホート研究が導く人生 100 年時代の助産ケア ～女性の生活習慣と健康環境と子どもの健康に関する調査から～」 妊娠糖尿病既往から考える女性の長期的な健康支援	15 分
	/			倉林 工 (新潟市民病院 産科部長・患者総合支援センター(スワンプラザ)長)	シンポジウム 3「大規模コホート研究が導く人生 100 年時代の助産ケア ～女性の生活習慣と健康環境と子どもの健康に関する調査から～」 周産期疾患既往女性の将来の生活習慣病発症リスクとその管理	21 分
	/			杉浦 真弓 (名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科 教授, 不育症研究センター長)	シンポジウム 3「大規模コホート研究が導く人生 100 年時代の助産ケア ～女性の生活習慣と健康環境と子どもの健康に関する調査から～」 エコチル調査から分かったこと～不育症患者の妊娠帰結と血栓症の危険因子	15 分
	/			林 邦彦 (群馬大学大学院保健学研究科 保健学専攻教授)	シンポジウム 3「大規模コホート研究が導く人生 100 年時代の助産ケア ～女性の生活習慣と健康環境と子どもの健康に関する調査から～」 NHS 研究の目的、計画、そしてその知見	16 分
	/			高橋 優子 (筑波大学人間総合科学研究科看護科学専攻)	シンポジウム 4「今世界が目している出産ケア」 世界からみた「産婦を尊重したケア」の今日的意義	19 分
	/			ドーリング 景子 (オークランド工科大学・博士課程)	シンポジウム 4「今世界が目している出産ケア」 WHO および海外に学ぶ女性中心のケアと継続ケアシステム	18 分
	/			戸田 隆夫 (独立行政法人国際協力機構(JICA) 上級審議役)	シンポジウム 4「今世界が目している出産ケア」 何故、「人間的なお産」を世界に広めるのか？	23 分
	/			山田 礼子 (同志社大学 社会学部 教育文化学科 教授)	シンポジウム 5「助産師教育の修業年限 2 年を考える」 高等教育機関におけるプロフェッショナル・教育	31 分
	/			福井 トシ子 (公益社団法人 日本看護協会 会長)	シンポジウム 5「助産師教育の修業年限 2 年を考える」 あらゆる場で助産実践できる助産師の育成	19 分
	/			村上 明美 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 教授 学部長)	シンポジウム 5「助産師教育の修業年限 2 年を考える」 将来を見据え、望ましい助産師教育を推進するために (スライドに音声はありません)	5 分
	/			海野 信也 (北里大学 医学部 産科学 教授)	シンポジウム 5「助産師教育の修業年限 2 年を考える」 次代を担う助産師に求められる資質とは (スライドに音声はありません)	13 分
	/			中村 幸代 (横浜市立大学医学部看護学科大学院医学研究科 教授)	シンポジウム 6「女性の健康と冷え症のケア」 エビデンスに基づく妊産婦の冷えと助産ケア	17 分
	/			川嶋 朗 (東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科 教授)	シンポジウム 6「女性の健康と冷え症のケア」 冷えの病態と対策(スライドに音声はありません)	11 分

視聴希望	視聴予定日	講義科目	受講学生人数	講演者	タイトル	時間
	/			加納尚美 (茨城県立医療大学) 家吉望み (東京有明医療大学) 米山 奈奈子 (秋田大学) 李 節子 (長崎県立大学)	交流集会 3 「性暴力への対応力を高める: 日本版性暴力対応チーム研修体験のすすめ」 模擬 SART 研修(短縮版) 1. 性暴力被害の実態と被害の影響1(個人レベル) 2. 性暴力被害の実態と被害の影響1(社会レベル) 3. 支援の実際と性暴力対応チームの動き 4. 性暴力対応チームの中での看護師・助産師・保健師の役割とふりかえり	60分
	/			篠崎克子 (国際医療福祉大学大学院助産学分野(福岡)) 蒲田和芳 (広島国際大学・教授) 山上未菜子 (佐世保記念病院理学療法士)	プレコンGRES 3 「PT とコラボして骨盤周囲の触診技術を高めよう！」 1. 妊娠・分娩と骨盤底機能の関連: 2. 精密触診—癒着とリリース: 3. 膀胱触診の実際:	72分
	/			一般財団法人 日本助産評価機構 研修委員会 安達 久美子 潮田 千寿子 早川 ひと美 堀内 成子	プレコンGRES 4 CLOCMiP 研修「助産師に求められる意思決定の支援」 【プログラム】 1. あいさつ 2. 意思決定支援が必要な背景と現状 3. 意思決定支援のためのスキルとツール 4. 意思決定支援トレーニング	60分
合計申込数			小間	上記で申し込みをしたプログラムのみ教材として利用をいたします。 署名:		